

#### 第4問

Xは、交際相手であるBが親友であるAと浮気をしていることに気付いた。Aが親友であったことから、XのAに対する恨みは尋常なものではなく、毎日深夜普通自動車でもA方に乗り付けクラクションを鳴らすなどの迷惑行為をはたらいた。Aとしては自由恋愛の末にBと交際しているものであり、Xに文句を言われる筋合いはないと思っていたことから、Xの行為に憤激し、自宅前に止まっているX車に向かった。Xは普段通りクラクションを鳴らすなどしていたところ、いきなりAから運転席の窓を叩かれたため、窓を開けた。するとAから運転席窓越しに胸倉を掴まれて前後に揺すぶられて、顔面や頭部を手拳で殴打されるなどの暴行を受け、さらに車外に引きずり出されてAと路上で向き合った。

Xは血相を変え攻撃を止めないAに対し狂気を感じ、バットを見せればこれ以上暴力は振るわないだろうと威嚇のためにトランクの中から金属バットを持ち出した。Aは、金属バットを見たことで、これ以上の攻撃の意思を失った。しかしXは、これに対しAがなおも両手を挙げて近づいてきたので、なお攻撃を加えられると誤信し、素手のAに対しその頭部などを金属バットで3回殴打し、加療2か月間の頭蓋骨陥没骨折・脳挫傷等の重傷を負わせた。

Xの罪責を述べよ。